

第8回運営推進会議記録

| | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------|------------|-------------|--------------|-------------|------|----------|------|-----------------|-------|
| 事業者名および住所 | 合同会社 たけのこカンパニー 逗子市逗子3-3-23 | | | | | | | | | | |
| 事業所名および住所 | リハビリセンター彩 逗子市逗子3-3-23 | | | | | | | | | | |
| 開催日 | 令和4年11月25日（金） | | | | | | | | | | |
| 開催場所 | リハビリセンター彩 | | | | | | | | | | |
| 出席者 | <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">事業者</td> <td>竹内 美穂</td> </tr> <tr> <td>家族代表</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>木村 様</td> </tr> <tr> <td>逗子市高齢介護課</td> <td>青山 様</td> </tr> <tr> <td>逗子市中部地域包括支援センター</td> <td>喜代門 様</td> </tr> </table> | 事業者 | 竹内 美穂 | 家族代表 | 1名 | 民生委員 | 木村 様 | 逗子市高齢介護課 | 青山 様 | 逗子市中部地域包括支援センター | 喜代門 様 |
| 事業者 | 竹内 美穂 | | | | | | | | | | |
| 家族代表 | 1名 | | | | | | | | | | |
| 民生委員 | 木村 様 | | | | | | | | | | |
| 逗子市高齢介護課 | 青山 様 | | | | | | | | | | |
| 逗子市中部地域包括支援センター | 喜代門 様 | | | | | | | | | | |
| 議題・課題 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 利用者状況について (2) 職員の状況 (3) 報酬加算状況 (4) 事故報告書 (5) 活動報告 <ul style="list-style-type: none"> ①個別機能訓練について ②地域交流について ③作業療法士実習生受け入れ ④その他 (6) 質疑応答、要望、意見交換 | | | | | | | | | | |
| 活動報告 | <ul style="list-style-type: none"> ①個別機能訓練について <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">・ハンドセラピー 1名</td> <td style="width: 50%;">・応用歩行訓練 5名</td> </tr> <tr> <td>・歩行補助具相談 2名</td> <td>・補装具などの相談 3名</td> </tr> <tr> <td>・麻痺側手指訓練 7名</td> <td></td> </tr> </table> ②地域交流について <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年 6月23日 南が丘団地 光明寺団地 体操広場講師 ・令和4年 10月18日 RUN伴+ 打合せ 神奈川県立逗葉高等学校チームSDGs来所 ・令和4年 11月12日 RUN伴+ リレー参加 ③作業療法士実習生受け入れ <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年 6月13日～2か月 東京工科大学 1名 ・令和4年 8月29日～7週間 東京工科大学 1名 | ・ハンドセラピー 1名 | ・応用歩行訓練 5名 | ・歩行補助具相談 2名 | ・補装具などの相談 3名 | ・麻痺側手指訓練 7名 | | | | | |
| ・ハンドセラピー 1名 | ・応用歩行訓練 5名 | | | | | | | | | | |
| ・歩行補助具相談 2名 | ・補装具などの相談 3名 | | | | | | | | | | |
| ・麻痺側手指訓練 7名 | | | | | | | | | | | |

質疑応答・要望・
意見交換

(青山氏より意見)

・逗葉高校チームSDGsとの関りについて。SDGsの「とりこぼさない」というところが高齢者福祉とも関係があると思う。SDGsを意識して、年齢の隔てなく地域との関わりを持ってもらえればと思う。

(喜代門氏より意見)

・要支援の利用者をたくさん受け入れてもらっていると感じている。
・産休・育休により職員が少ない中で、事故を起こさずサービス提供しているため頑張っていると思う。

(家族代表としての意見)

・地域交流報告の中で、サロンでの体操講師をしたという報告に興味がある。自分が活動しているボランティア活動の場で、準備体操をせずに参加した人が腰を痛めてしまったことがある。全体ではラジオ体操程度実施するようにしているが、どのような運動が適切か分からない。リハビリの専門職に来て貰って運動指導を受けられたらケガが予防できていいなと思った。逗子市の地域包括ケアシステムでも課題となっている。地域資源として活用できる仕組みができると良いのでは。

(木村氏より意見)

・今月で民生委員としての任期の3年を終える。コロナ禍でのサービス継続は大変だったと思う。この会議の場は色々情報を得られて、有意義な場だったと思っている。

・家族代表の方の意見にもあったように、急に動いて腰を痛めた人の話を聞くことがある。電球を交換する程度のことで、年齢のせいで痛めてしまうことがある。リハビリセンター彩はリハビリ専門職がいる地域資源である。縦だけではなく、横の連携を深め情報を共有していけると良いのでは。

・民生委員のなり手がおらず後継探しに苦慮している。今の形を変える必要も考えないといけないのかもしれない。

(竹内より意見)

・職員が少ない中でも事故なくサービス提供が行えていることは、環境整備をしていることもあるが、ご利用者の協力があることが大きい。

・民生委員の担い手不足の話を聞いて、逗子市全体の介護職員の不足や高齢化が問題になっていることにも課題がつながっていると感じた。個人的に地域福祉を推進するためには、まず子どもたちへの福祉教育が重要と考えている。逗葉高校のチームSDGsの学生に見学してもらったことは、福祉教育の目的もあった。福祉の施設として地域に貢献していきたいと考えているが、職員体制のこともあり現在事業所主体で動くことは難しいと感じている。地域包括支援センターの活動に協力していく形で関わると良いと考えている。

| | |
|----------|------|
| その他必要な事項 | 特になし |
|----------|------|